

## 下川原焼土人形

### 鳩笛

青森県 弘前市



江戸時代、津軽藩の御用窯として日用雑器をつくっていた下川原焼。藩主がこの地に玩具が少ないことを憂い、土人形をつくることを命じた。雪深い冬の農閑期を利用して様々な土人形が生まれ、今でも津軽を代表する縁起物として人々から親しまれています。

阿栗 正志  
〒036-0083 青森県弘前市大字新宮字上藤町 80-2  
TEL. 0172-27-3766

## 仙台張子

### 未

宮城県 仙台市



仙台では毎年、和紙の柔らかない表情を活かしたかわいらしい首振りの干支人形がつくられ親しまれています。十二支は古代中国で時を表す単位として用いられており、文字の読めない庶民にも理解できるような動物の名をあてはめたといわれ、現代にも息づく信仰の対象となっています。

高橋しほみ工房  
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中田 2-4-5  
TEL. 022-222-8666

## 弥治郎こけし

福島県 いわき市

ペレー帽のような顔のろくろ模様と少女の表情が愛らしい弥治郎こけしは、東北地方各地でつくられる11の伝統こけしの系統のひとつです。こけしは、かつてろくろ挽きの食器などをつくった木地師が子どもに与えた玩具が発祥といわれています。高沼場のお土産もかつて大衆人気があり、現在でも多くの工芸家が個性的なこけしを作り続けています。

木地処さとう  
〒970-0022 福島県いわき市平坂字徳内 90-3  
TEL. 0246-22-4926



## 近江だるま

滋賀県 東近江市

近江だるまは滋賀県の琵琶湖近くで、大正時代からつくられています。中仙道を往来する人々でにぎわった近江では、「小幡でこ」や「大津絵」など京都の伏見人形の影響を受けているといわれるものが数多くあります。近江だるまの面風はその大津絵と共通する面白さがあり、愛嬌のある表情は古くから人々に親しまれてきました。

近江だるま保存会  
〒521-1226 滋賀県東近江市林町 43-2  
TEL. 056-3494-3180



## 招運鹿

奈良県 奈良市

奈良の鹿は約1300年前より春日大社の使い「神鹿」として大切にされ、また国の天然記念物として保護されています。招運鹿はかつて一匹程の大きさで土でつくられており、かごに入れて売られるといわれています。この招運鹿は明治初期に描かれた絵巻「春日野」を元にした縁起物として現代に復活しました。8頭のオシロイフネ一つが入っています。

春日野  
〒604-0211 奈良県奈良市白河町 494  
TEL. 074-26-3311



## 瓦猿

和歌山県 和歌山市

瓦猿はその名の通り、瓦の製法でつくられる猿の土人形です。江戸時代より和歌山市田中町は瓦町と呼ばれ、瓦職人の町として栄えてきました。その頃から安徳・子授けの祈願で奉納されてきましたが、近年では「愛わらざる」ということで安泰を祈願するお守りとしても広まっています。

野上泰司邸  
〒640-0329 和歌山県和歌山市田中町 4-112  
TEL. 073-423-1988



## 姫路張子

兵庫県 姫路市

明治時代から続く姫路張子は、瓦型に紙を張り付けてつくるのが特長です。姫路は瓦の産地でもあり、型は原型から型取りされたあと、瓦をつくる窯で焼かれます。鉢巻きをしたユニークな表情のたこだるまはお祭りなどで売られ、親しまれてきました。

松尾隆  
〒676-2183 兵庫県神戸市垂水区野原 1040-21  
TEL. 0782-22-7762



## 倉吉張子

因幡の白うさぎ

鳥取県 倉吉市



古い白壁土蔵の町が残る鳥取県倉吉市。倉吉張子は、子どもの無病息災を願って贈られる縁起物です。「因幡の白うさぎ」の伝説は出雲神話との関わりも深く、縁結びの白うさぎとして地域で親しまれています。

倉吉はた土人形保存会  
〒682-0861 鳥取県倉吉市東神町 2084  
(東及2号館 はた土人形)

## 倉敷土人形

桃太郎

岡山県 倉敷市

日本人なら誰もが知っている「桃太郎」の伝説は、桃の産地でもある岡山を舞台としています。桃から勢いよく生まれた桃太郎の逞やくまの表情は、物語の一場面を活き活きと描いています。

道楽かん工房  
〒701-0104 岡山県倉敷市山道 66-3  
TEL. 086-862-8637



## 宮島土鈴

鹿猿土鈴

広島県 廿日市市

宮島では厳島神社の神の使いとされる鹿が人々と共に暮らしています。以前は宮島に生息する野鳥の日本鴉が神鹿に乗る。鹿猿土鈴のような姿も自然に見られました。地城の風土に根ざした組み合わせがユニークです。

植野陶芸  
〒739-0201 広島県廿日市市宮島町 237  
TEL. 0829-44-6336



## 六原張子

### 厄除け羊

岩手県 胆沢郡

岩手県胆沢郡の六原という地域でつくられる六原張子。「内取り」という技法は、回型の型に内側から和紙を出し重ねるため、繊細な起伏とともに豊かな表情を表現することができます。紙の織い織合いは岩手産の成島和紙によるものです。2015年は天狗の面を乗せた犬。作者の創意が毎年楽しみな張子人形です。

さほらん工房  
〒029-4301 岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原町 20-30  
TEL. 0197-43-3397



## 堤人形

### 鳩笛

宮城県 仙台市

堤人形は伊達家四代藩主伊達輝村の時代に藩内の産業発展のため始められました。現在でも当時の型を使ってつくられており、千数個にのぼる土型の一部は、仙台市の有形文化財に指定されています。鳩は洋の東西を問わず競争をもたらす鳥とされ、古くから各地で土鈴や土人形のモチーフとして好まれています。

つつみのおひなごや  
〒981-0812 宮城県仙台市青葉区東区 2-10-10  
TEL. 022-233-6409



## 中湯川人形

来らんしよ羊

福島県 会津若松市



三つ指について福を招き入れる招福の干支人形です。「来らんしよ」は当地の言葉で「どうぞ、こちらにお出ください」という歓迎の気持ちを表します。会津若松の山深い地で数多くのユーマラスな土人形がつくられています。

工房 三想  
〒965-0815 福島県会津若松市龍川中島町 256  
TEL. 0242-28-3440

## 伏見人形

棹羊

京都府 京都市

千本鳥居で有名な京都の伏見稲荷大社の門前には、古来より土部郡が住み雑物をつくっていた。江戸時代に入るに参拝客の土産品として土人形が珍重されるようになり、その技法は全国に伝わっていました。今では国内に90種類以上ある土人形の元祖であるといわれています。

丹蔭  
〒605-0881 京都府京都市東山区北町 22-504  
TEL. 075-564-1627



## 干支張子

羊

岩手県 花巻市



宮沢賢治の生誕地としても知られる岩手県花巻市。豊かな文化を育み、古くからの伝統が息づくこの地では郷土玩具も数多くつくり続けられています。節句や年中行事に合わせて、人々は様々な願いを込めて人形を飾っていました。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで一年間家を守ってくれるといわれています。

小田島民芸所  
〒025-0008 岩手県花巻市材木町 10-20  
TEL. 0196-23-4856

## 三春張子

めで鯛

福島県 郡山市



三春で張子人形がつくられ始めたのは、一説によると三春数十年前。京都の伏見人形が三春数地方に伝わり、高柴村の人々がそれを真似、副業として張子人形をつくり始めました。今でも「高柴デコ屋敷」と呼ばれる集落で様々な郷土玩具がつくられています。ふつとらとした真つ赤な鯛は、「めで鯛」という名の縁起物として広く親しまれています。

高田民芸 (有)  
〒963-0002 福島県郡山市西田町高柴字野野 80-1  
TEL. 024-972-2412

## 赤べこ

福島県 会津若松市

会津地方では牛のことをべこと呼びます。千二百年程前に会津柳津・福徳虚空蔵尊圓藏寺の建立の際、最後まで働かしたのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には杜松を祈り、また疫病除けとしても贈られて親しまれています。

(有) 民芸処源正  
〒965-0811 福島県会津若松市南町 1-4-3  
TEL. 0242-27-4388



## 御殿玩具

福良雀

京都府 京都市



御殿玩具は江戸時代、公家の姫が宮中で遊ぶ玩具として発展しました。植物などの繊細な絵柄を施し顔には宝珠が描かれています。福良雀は、富と繁栄を願い縁起のよい文字を当てられています。丸々と膨らんだ姿は豊かさの象徴とされています。

御所人形 島田謙園  
〒615-0826 京都府京都市東山区醍醐町 331  
TEL. 075-561-7887

## 大阪張子

虎張子

大阪府 柏原市



大阪張子は子どもの成長を祈る玩具として京町時代から親しまれてきました。日本で初めて世宗門天が見られたとされる信貴山の福運孫子寺では、獅子の胎が守り神として授けられ、大阪張子を原型とした「狸一福寅」とも呼ばれています。大阪では毎月5日の祭りの節句に、虎ととらに張子の胎を贈って男の子の成長を祝います。

大阪張子工房 峰商店  
〒582-0007 大阪府柏原市上市 1-4-12  
TEL. 072-973-9423

## 須磨張子

羊

兵庫県 神戸市



須磨張子の工房は日本と外国の文化が入り交じる神戸市街からほど近い、六甲山の麓にあります。明治時代、開港後の外国人の様子を表現したのも、須磨地方に古くから伝わる昔話を題材にしたものなど、この地ならではの張子人形が数多くつくられており、干支の人形にもどこか異国情緒を感じることができます。

神戸すまの子館  
〒650-0007 兵庫県神戸市中央区内瓦町 48  
TEL. 078-362-1828

## 岩井温泉の十二支

羊

鳥取県 岩美郡



1300年の歴史がある山陰最古の「岩井温泉」。江戸時代より木地師がろくろ挽きの食器などをつくってきましたが、温泉地のお土産ものとして、愛らしい干支の人形が親しまれるようになりました。素材でユーマラスな表情をしています。

おぐら屋  
〒681-0024 鳥取県岩美郡岩美町岩井 319  
TEL. 0857-72-8828

## 玉島だるま

岡山県 倉敷市



西日本では数少ないだるまの産地である玉島地区の玉島だるまは、戦後から生産が始まりました。起き上がりこぼしのような郷土玩具として幅広い世代に親しまれ、子どもの健やかな成長を願ったり、合格を祈願したりする願掛けだるまとして広く利用されています。

玉島だるま徳盛造所  
〒713-8183 岡山県倉敷市玉島乙島 913-7  
TEL. 086-522-3733

## 宮島張子

ヤマガラ

広島県 廿日市市



厳島神社参拝のお土産ものとして親しまれている宮島張子。個性的で美しい模様と色使いを施した、鳥の張子は数多くつくられています。ヤマガラは形がよく、昔はおみくじをくむと宮島という島として神社の境内で人気を博していたことから「おみくじ島」と呼ばれ、宮島の森にも多く生息しています。

宮島民芸工房  
〒739-0517 広島県廿日市市宮島町大和町 603  
TEL. 0829-44-2099

## 長州土鈴

幸ふく土鈴

山口県 萩市



現在でも閑静な城下町が残る萩の町。長門張子は近年生まれた張子人形ですが、熊本の宇土張子の技法を元につくられています。昔ながらの行儀を守った素朴な表情にどこか懐かしさを感じるすることができます。

(有) 民芸心ふた  
〒754-0011 山口県萩市萩町萩秋 614  
TEL. 0837-62-9286

民芸長街長州  
〒759-0817 山口県萩の南宮町 20-7  
TEL. 0838-23-0660